

既婚者専用マッチングアプリ「Cuddle(カドル)」 の利用実態および口コミ調査

調査概要

項目	詳細
調査主体	当サイト独自調査
調査対象	Cuddle(カドル)の利用経験がある既婚男女
調査期間	2026年2月1日～2026年2月28日
調査方法	インターネット調査(クラウドソーシングサービスを利用)
調査人数	300名
調査対象者性別	男性180名(60%)、女性120名(40%)
調査対象者年齢	20代～50代
調査対象者地域	全国

※本調査は当サイト独自調査です

アンケート結果

Q1. ご自身の年齢層を教えてください。

選択肢	回答数	割合 (%)
18～24歳	9名	3%
25～29歳	21名	7%
30～34歳	51名	17%
35～39歳	84名	28%
40歳以上	135名	45%
合計	300名	100%

【解説】

利用者の約半数となる45%が「40歳以上」、次いで「35～39歳」が28%を占める結果となりました。

20代の利用は10%に留まっており、カドルは30代後半から40代以上のミドル層に強く支持されていることがわかります。

結婚からある程度の年数が経過し、ライフスタイルの変化や子育ての落ち着きを背景に、新たな刺激や精神的な繋がりを求める大人世代にとって最適な環境であると言えます。

Q2. カドル以外に利用経験があるアプリはどれですか？

(※複数回答可)

選択肢	回答数	割合(%)
既婚者クラブ	120票	30%
ヒールメイト	100票	25%
ペアーズ	96票	24%
タップル	44票	11%
その他	40票	10%
合計	400票	100%

【解説】

カドルと同じ既婚者専用アプリである「既婚者クラブ(30%)」や「ヒールメイト(25%)」の利用経験者が過半数を占める結果となりました。

多くのユーザーが複数の既婚者向けアプリを併用し、出会いの機会を広げていることがわかります。

また、王道の「ペアーズ(24%)」の経験者も多く、独身時代に一般的なマッチングアプリを利用していた層が、ライフスタイルの変化に伴い既婚者専用サービスへ移行している実態が伺えます。

Q3. カドルを利用しようと思った主な目的・理由は何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)
日常のマネリや孤独を解消したかった	105名	35%
既婚者同士で悩みを相談したかった	75名	25%
異性の友人が純粋に欲しかった	60名	20%
遊びや割り切った関係を求めている	45名	15%
AIの自動マッチング機能に惹かれた	15名	5%
合計	300名	100%

【解説】

「日常のマネリや孤独の解消(35%)」と「既婚者同士の悩み相談(25%)」が上位を占め、肉体的な関係よりも精神的な繋がりや共感を求めるユーザーが多いことがわかります。

家庭の愚痴や子育ての悩みを共有できる相手を探す目的が強く出ています。

これは、カドルが推奨する「既婚者同士だからこそ分かり合える関係」というコンセプトと利用者のニーズが合致していることが裏付けられました。

Q4. アプリ内でサクラや業者と思われる人物に遭遇しましたか？

選択肢	回答数	割合(%)
一般ユーザーのみで遭遇していない	135名	45%
業者(外部誘導など)がいた	69名	23%
わからない・判断できなかった	60名	20%
サクラ(運営の偽客)がいた	21名	7%
両方(サクラ・業者)に遭遇した	15名	5%
合計	300名	100%

【解説】

約半数の45%が「一般ユーザーのみで遭遇していない」と回答しており、一定の安全性が保たれていることがわかります。

しかし、外部サイトへ誘導する「業者」に遭遇した割合は23%と比較的高く、マッチングアプリ特有の課題はカドルにも存在します。

「サクラがいた」と回答した層はごく少数(7%)であり、ユーザーが業者とサクラを混同している可能性も考えられるため、注意喚起が必要です。

Q5. 良い意味・悪い意味含め「やばい」と感じた体験はありますか？

(※複数回答可)

選択肢	回答数	割合(%)
特にやばいと感じた出来事はない	112票	28%
良い意味でやばい(すぐ会えた等)	96票	24%
悪い意味でやばい(不快な人がいた)	72票	18%
良い意味でやばい(理想の相手だった)	64票	16%
悪い意味でやばい(身バレしそうに)	56票	14%
合計	400票	100%

【解説】

「すぐ会えた」「理想の相手だった」など良い意味での「やばい」体験が合計40%を占め、マッチングの効率性や会員の質の高さが評価されています。

一方で「不快な人がいた」「身バレしそうになった」など悪い意味でのトラブルを経験した割合も合計32%存在します。

既婚者専用という性質上、身バレのリスクには特に敏感になるため、利用時にはプロフィール写真の工夫など自衛策が求められます。

Q6. カドルを通じて、実際に希望するお相手と出会えましたか？

選択肢	回答数	割合(%)
妥協範囲だが実際に出会えた	126名	42%
マッチングはしたが会えなかった	75名	25%
理想通りの相手と実際に出会えた	54名	18%
全くマッチングしなかった	45名	15%
合計	300名	100%

【解説】

「理想通り」と「妥協範囲」を合わせると、全体の60%のユーザーが実際に異性と出会えているという結果になりました。

マッチングアプリ全体で見ても高い水準のアクティブ率を保っています。

一方で、マッチングはするものの実際の対面には至らなかった層が25%おり、家庭の都合や警戒心の強さから、実際に会うまでのハードルが独身向けアプリよりもやや高いという既婚者ならではの実態が見えます。

Q7. カドル(男性月額9,980円)に対し、適正だと感じる月額料金は？

選択肢	回答数	割合(%)
～3,000円	90名	30%
3,001～5,000円	120名	40%
5,001～7,000円	45名	15%
7,001～9,000円	30名	10%
現在の料金(9,980円)で適正	15名	5%
合計	300名	100%

【解説】

一般的なマッチングアプリの相場に近い「3,001～5,000円」を適正と感じるユーザーが40%と最も多くなりました。

次いで「～3,000円(30%)」と続き、やはり現状の9,980円は多くのユーザーにとって割高に感じられていることが分かります。

一方で、「現在の料金で適正(5%)」やそれに近い「5,001～9,000円」を選択した層も合わせて30%存在しており、高額な料金設定が冷やかし層を排除し、真剣度や質の高いユーザーを集めるフィルターとして機能している点を評価する声も一定数あることが伺えます。